

2006年2月10日

T-Engineフォーラム

ユビキタスMD研究・協議会

生活協同組合 コープさっぽろ

—「ユビキタス食品情報基盤システム実証実験」説明会—

2006年2月17日 「コープさっぽろ 新道店」にて

T-Engineフォーラム（本部：東京都品川区 代表 坂村 健）では、平成17年度農林水産省ユビキタス食の安全・安心システム開発事業において、最先端のユビキタス情報処理技術を活用して、食品の生産履歴・加工履歴・流通履歴・販売情報と、その食品の個体（現物）の一貫した紐付けをする新しい情報システムの構築によって、食品トレーサビリティの実現や、食品の物流効率化・高信頼化、店舗における食品の販売促進業務、生産段階における生産支援など、汎用的かつ多目的に活用できる先進的なシステムである「食の安全・安心システム」を開発し、食品のトレーサビリティシステムの効率的な普及を推進しております。

今回、T-Engineフォーラム ユビキタスMD研究・協議会及び生活協同組合コープさっぽろ（本部：北海道札幌市 理事長 松村 喬）は、同研究・協議会で今年度に開発した様々なトレーサビリティシステムにおける統合実験に入りましたのでご案内いたします。

店舗での自動包装・計量器システムや、牛個体情報システムからの生産・流通履歴データに加え、新たに中央集約によるパックセンターでの高速計量・包装機への技術導入により畜・水産品のトレーサビリティ対象アイテムの継続的な拡大や、ユビキタスのIC技術を基にした高度セキュリティにより消費者向けの個人別対応システムとして、購入した個別の食品情報（アレルギー）やお買い物データを、安心して情報検索できる仕組みを公開致します。

本実験は、「新道店」並びに「美園店」にて1月25日から開始しており、複数の産地・メーカー・流通と消費者個人を結ぶ新たな取組みとして検証しています。

上記に関する説明会については、2月17日（金）9時30分より、「新道店」（別添）にて行ないます。

◆本件に関する問合せ先

・T-Engine フォーラム 担当：伯田 誠

電話：03-5437-2270

（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）

URL：<http://www.t-engine.org/>

E-mail：press@www.t-engine.org

・生活協同組合コープさっぽろ

担当：石坂 裕幸 理事長補佐

電話：011-671-5601 FAX：01-671-5601

e-mail：ishizaka@coop-sapporo.or.jp

【説明会会場】前記説明会について、下記にて2月17日（金）9時30分から開始する。



生活協同組合 コープさっぽろ 新道店

北海道札幌市東区伏古 11 条 3 丁目 1-45 TEL 011-783-1961

【参加団体】

- ・ T-Engine フォーラム ユビキタス MD 研究・協議会
- ・ 生活協同組合 コープさっぽろ
- ・ 株式会社 ライフ (Life カード)
- ・ 農林水産省 消費安全・政策課

(公開説明会当日配布資料)

2006年2月17日

T-Engineフォーラム

ユビキタスMD研究・協議会

生活協同組合 コープさっぽろ

—「ユビキタス食品情報基盤システム実証実験」公開説明会—

T-Engineフォーラム（本部：東京都品川区 代表 坂村 健）では、平成17年度農林水産省ユビキタス食の安全・安心システム開発事業において、最先端のユビキタス情報処理技術を活用して、食品の生産履歴・加工履歴・流通履歴・販売情報と、その食品の個体（現物）の一貫した紐付けをする新しい情報システムの構築によって、食品トレーサビリティの実現や、食品の物流効率化・高信頼化、店舗における食品の販売促進業務、生産段階における生産支援など、汎用的かつ多目的に活用できる先進的なシステムである「食の安全・安心システム」を開発し、食品のトレーサビリティシステムの効率的な普及を推進しております。

今回、T-Engineフォーラム ユビキタスMD研究・協議会及び生活協同組合コープさっぽろ（本部：北海道札幌市 理事長 松村 喬）は、同研究・協議会で今年度開発した様々なトレーサビリティシステムにおける統合実験に入りましたのでご案内いたします。

店舗での自動包装・計量器システムや、牛個体情報システムからの生産・流通履歴データに加え、新たに中央集約によるパックセンターでの高速計量・包装機への技術導入により畜・水産品のトレーサビリティ対象アイテムの継続的な拡大や、ユビキタスのIC技術を基にした高度セキュリティにより消費者向けの個人別対応システムとして、購入した個別の食品情報（アレルゲン）やお買い物データを、安心して情報検索できる仕組みを公開致します。

例えば、同ユビキタス技術によるシステムでは次のような成果が期待できます。

個人によって反応の異なるアレルゲン情報などを、高度なセキュリティ技術をもつ「e-Tronカード」に格納し、端末に個人情報をもたず（つまり個人情報の流出がございません）、特定商品の個人に対するアレルゲン含有判定を行うことが可能です。

何らかの危害が発見された食品が流通してしまった場合、消費者が手許にある商品が該当するかの確認を、消費者自身が自宅に居ながら照会し、安全判定を行なうことが可能です。

上記のように、消費者が個別に必要なとする食品に関する情報を、様々な情報源から簡便且つ安全に確認できる仕組みとなり、日本発信の最先端技術により、「農場から食卓へ」トレーサビリティを更に発展させる技術として期待されます。

本実験は、コープさっぽろ職員150名以上の参加により「新道店」並びに「美園店」にて1月25日より開始し、複数の産地・メーカー・流通と個人を結ぶ新たな取組みとして検証・評価しており、関係食品メーカーとトレーサビリティ技術についての継続的協議を行なう予定です。

◆本件に関する問合せ先

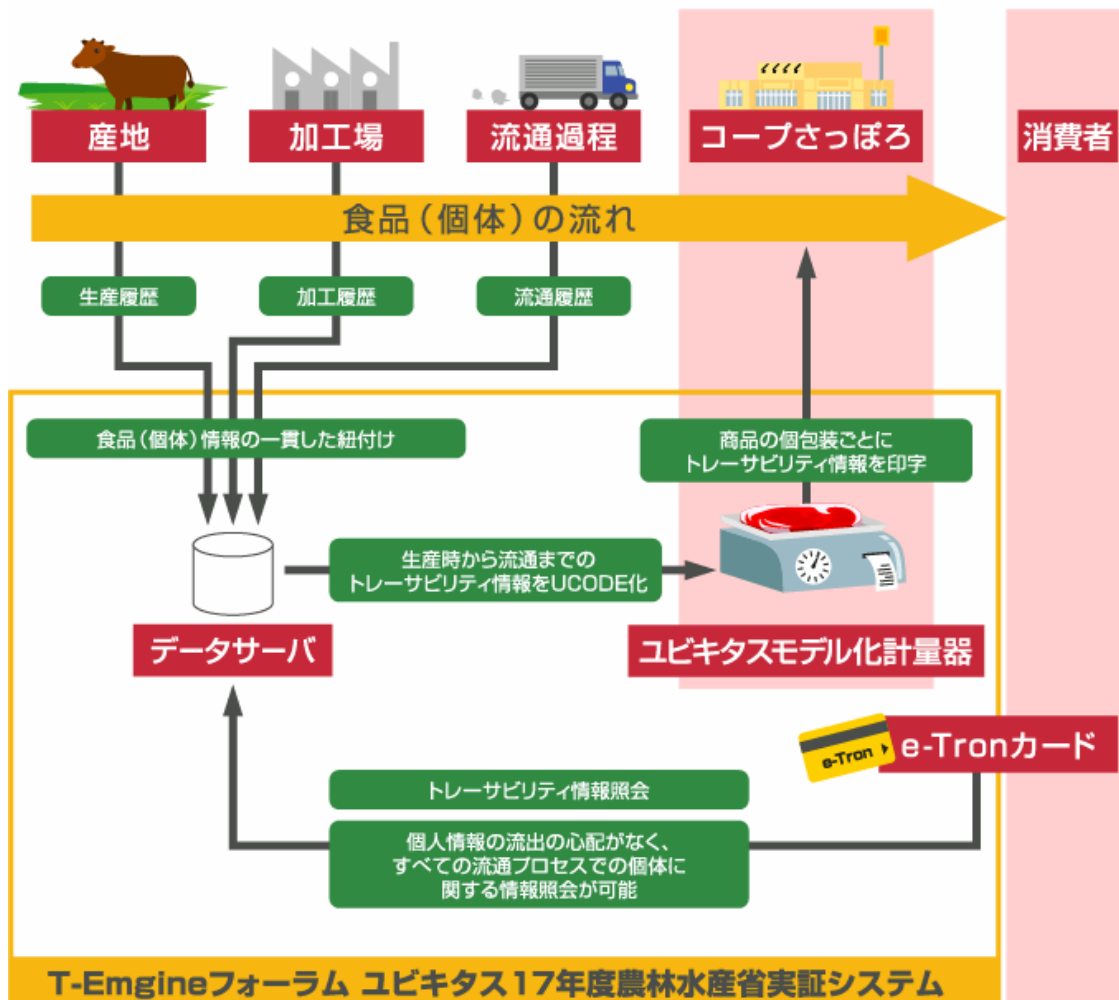
- T-Engine フォーラム 担当：伯田 誠
電話：03-5437-2270（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）
URL：<http://www.t-engine.org/>
E-mail：press@www.t-engine.org
- 生活協同組合 コープさっぽろ 担当：石坂 裕幸 理事長補佐
電話：011-671-5601 F A X：01-671-5601
e-mail：ishizaka@coop-sapporo.or.jp

報道向け説明会レジュメ

2006年2月17日9時から 於：コープさっぽろ 新道店

- | | | |
|-----------|--------------------|-------|
| 1. 司会挨拶 | コープさっぽろ 理事長補佐 | 石坂 裕幸 |
| 2. 挨拶 | 農林水産省 消費・安全政策課 | |
| | T-Engineフォーラム 会長 | 坂村 健 |
| | コープさっぽろ 専務理事 | 大見 英明 |
| | 株式会社ライフ 取締役 | 中本 稔彦 |
| 3. システム説明 | ユビキタスMD研究・協議会 事務局長 | 大松 重尚 |
| 5. 質疑・応答 | | |
| 6. 終了 | | |

【ユビキタス食品情報基盤システム実証実験概要】



例えば、同ユビキタス技術によるシステムでは次のような成果が期待できます。

個包装にトレーサビリティ情報が印字されているため、何らかの危害が発見された食品が流通してしまった場合、消費者が手許にある商品が該当するかの確認を消費者自身が自宅に居ながら照会し、安全判定を行なうことが可能です。

また、個人によって反応の異なるアレルギー情報などを高度なセキュリティ技術をもつ「e-Tronカード」に格納し端末に個人情報を渡すこと無く(つまり個人情報の流出がおこりません)特定商品の個人に対するアレルギー含有判定を行うことが可能です。